

平成 30 年 9 月市長定例記者会見 記録

平成 30 年 9 月 28 日(金)

午前 10 時～午前 10 時 30 分

発表案件

1. 佐渡トキ野生復帰 10 周年記念式典の開催について

これまでの佐渡でのトキの野生復帰に向けた取り組みを振り返り、佐渡での野生復帰が成功を収めたという成果を、全国、さらに世界に発信するとともに、トキと人との共生を一層進めること等を目的にしまして、来月 10 月 14 日の日曜日と 15 日の月曜日に「佐渡トキ野生復帰 10 周年記念式典」が佐渡市で開催されます。

10 月 14 日の日曜日は、記念式典のあと、元佐渡トキ環境親善大使で現在も環境保護活動に取り組んでいらっしゃる歌手の加藤登紀子さんと、元 NGT48 として新潟県の地域振興にご協力いただいております女優の北原里英さんをゲストにお迎えして、記念フォーラムを開催いたします。記念フォーラム終了後は、記念式典招待者の歓迎レセプションを開催いたします。

10 月 15 日の月曜日は、放鳥式で 10 羽程度のトキの放鳥を予定しております。

記念式典、記念フォーラム並びに放鳥式への参加には事前の申し込みが必要ですので、各家庭に配布しましたチラシの裏面にある申込みはがきまたは新潟県のホームページからお申し込みください。

申込期限は来月 5 日金曜日となっておりますので、入場をご希望される方でまだお申し込みがお済みでない方は、早めのお申し込みをよろしくお願いいたします。

2. 2019 年度～2023 年度の両津病院移転新築事業や公共施設改修・統廃合についての市民説明会開催について

9 月 25 日から、両津病院移転新築事業や合特債事業を含めた公共施設改修・統廃合についての市民説明会を行っております。

この説明会は、本年 4 月に合併特例債の発行期間がさらに 5 年間延長されましたことを受けて、佐渡市として来年度から 5 年の間に実施する建設事業計画の基本案と方向性をお話させていただくものでございます。

3. 平成 30 年度佐渡市総合防災訓練を実施します

平成 30 年度の佐渡市総合防災訓練を 11 月 11 日の日曜日午前 9 時から午後 0 時 30 分までの間、市役所相川支所となりの駐車場周辺をメイン会場として実施いたします。11 月 5 日は「津波防災の日」であり、今回の訓練でも「相川沖を震源とする強い地震が発生。佐渡市では最大震度 6 強を観測し、大津波警報が発表され、また、火災や家屋倒壊などの被害が発生した。」と想定して行うものでございます。今年も国内では大阪や北海道で大きな地震が発生しております。佐渡市に

においても、このような大きな地震がいつ起こるかわかりません。定期的な訓練を通じまして関係機関との緊密な連携を構築するとともに、市民の皆様の防災意識を高め、災害時の被害を最小限に抑えることを目的として行います。

総合防災訓練の概要としまして、相川のメイン会場では、関係機関がそれぞれの特徴を生かした各種訓練や防災設備の展示、体験を行います。今回は、佐渡測量設計業協同組合から訓練に参加いただくこととなり、ドローンを使った上空からの被害調査も計画しております。また、各地区の自主防災組織には、地区に応じた津波避難訓練や避難行動要支援者避難訓練等の実施を呼びかけます。特に昨年度避難路を整備した地区におきましては、この機会に改めて避難経路の確認と効果的な避難を検証していただきたいと考えております。

訓練当日の午前9時に緊急情報伝達システムの屋外スピーカーや戸別受信機からサイレンを鳴らした後、シェイクアウト訓練の放送がされます。市民の皆様にはシェイクアウト訓練に事前登録をしていただき、積極的にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、会場周辺において航空機及び車両を使用した訓練を実施しますので、お近くにお住いの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

4. 蓮華峰寺弘法堂の修理現場見学会開催について

昨年度から国庫補助事業にて実施している蓮華峰寺弘法堂の修理現場見学会を10月28日の日曜日に開催いたします。

佐渡市小比叡地区に位置する蓮華峰寺弘法堂は、江戸初期の慶長14年に建築された宝形造、とち葺きの屋根で、昭和25年に国の重要文化財に指定されております。このたび、事業主体であります蓮華峰寺様のご協力を得まして修理現場の見学会を開催いたします。当日は、設計監理業務を請け負う公益財団法人文化財建造物保存技術協会の担当者が説明をしてくれる予定になっております。見学会の時間は10時、11時、13時、14時の計4回で、各回の定員は20名、先着順とさせていただきます。

昭和30年に行われた前回の修理から実に63年ぶりの屋根の修理となります。重要文化財の修理現場を生でご見学いただく貴重な機会でございますので、多くの皆様に参加いただけたらと考えております。このような見学会を契機に文化財の保護に対して市民の皆様から、より一層の関心を寄せていただければ幸いと考えております。

5. 世界遺産登録に向けた今後の各種イベントについて

この場では、現在計画しております主なものを3つお知らせさせていただきます。

1つ目は、「佐渡金銀山遺跡現地ボランティア活動」を10月6日土曜日に北沢地区で行います。今年で4回目となる遺跡周辺での草刈りやごみ拾いなど、北沢浮遊選考場跡の50mシクナー周辺を中心に行います。また、ボランティア活動終了後、主に市外等からの参加者を対象とした(株)ゴールデン佐渡の観光坑道、これは大切山坑と無名異坑の2つでございます。これの見学を20

名限定で大人 3,000 円、中学生 2,000 円で募集いたします。お申し込みは 10 月 1 日までに産業観光部世界遺産推進課（電話 63-5136）までお願いいたします。

お申し込み多数の場合は、抽選となりますが、この機会にぜひ佐渡金銀山の歴史を体験していただければと思います。なお、北沢地区駐車場は数に限りがございます。そのため、あいかわ開発総合センター駐車場を臨時駐車場といたします。ぜひご利用ください。

2 つ目は、市内の一般の方々、これは中学生以上でございますが、これを対象に「佐渡金銀山現地ツアー（相川編）」を 10 月 13 日の土曜日に（株）ゴールデン佐渡の観光坑道にて行います。本年公開したばかりの無名異坑と同時に、2 本の平行坑道を掘って学術的にも貴重な坑道でもある大切山坑などを体験学習する山師コースとなっております。参加費は、国県の補助金をいただいている佐渡市自主事業のため、無料といたします。中学生以上 20 名限定で募集させていただきます。お申し込みは 10 月 10 日までに産業観光部世界遺産推進課（電話 63-5136）までお願いいたします。お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。この機会にぜひ佐渡金銀山の歴史を山師の気分でご体験ください。

最後 3 つ目は、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の世界遺産連続講座の第 3 回目を 10 月 20 日土曜日に新潟市中央区にあるほんぽーと新潟市立中央図書館多目的ホールにて、新潟県と佐渡市の共催で開催いたします。講師に、昨年佐渡でもご講演いただいた久間英樹松江工業高等専門学校電子制御工学科の教授から、遠隔操作ロボットと 3 次元レーザースキャナを用いた佐渡金銀山遺跡の調査報告をテーマにご講演いただきます。受講料は無料でございますが、募集定員は 100 名ですので、事前のお申し込みが必要となります。お申し込みは 10 月 19 日までに新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室（電話 025-280-5726）までお願いいたします。この機会に貴重な佐渡金銀山の調査研究のお話を聞いていただければと思います。

6. 佐渡博物館「縄文の造形美—六反田南遺跡と火焰型土器—」および「佐渡縄文遺跡講演会」の開催について

佐渡博物館では、10 月 6 日の土曜日から 12 月 16 日の日曜日まで、2016 年に全国 5 ヲ所の博物館を巡回した糸魚川市六反田南遺跡の国宝級名品や新潟県内の火焰型土器、そして地元佐渡の火焰型土器、石器、土偶などが一堂に集う特別展を開催いたします。また、特別展をより楽しんでいただくために展示解説も行います。日時は、10 月 28 日日曜日の午前 11 時から 12 時、午後 3 時から 4 時の 2 回でございます。お申し込みは不要ですので、このお時間までにご来館いただきたいと思います。また、小・中学生を対象としましたオリジナルの勾玉を作るワークショップ「玉作り体験」を佐渡中央会館 3 階研修室にて特別展展示解説と同日の 10 月 28 日の日曜日に実施させていただきます。時間は、午前 9 時 30 分から 10 時 30 分、午後は 1 時 30 分から 2 時 30 分の 2 回で、参加費は一人 400 円となっております。午前午後とも定員は 20 名で、お申し込みが必要となります。お申し込みは佐渡博物館（電話 52-2447）へ 10 月 12 日の金曜日までにお願いたします。なお、玉作り体験の参加者で特別展展示解説を希望される場合は、会場の佐渡博物館への

送迎も行ないますので、お申し込み時にあわせてお伝えください。

加えまして、六反田南遺跡や展示品、佐渡の縄文時代の遺跡と六反田南遺跡との関係などの検討成果を皆様に報告するため、10月21日の日曜日午前10時30分から午後3時まで「佐渡縄文遺跡講演会」を開催いたします。会場は、佐渡市消防本部2階多目的ホールとなります。当日は、同志社大学教授の水ノ江和同先生をはじめ、4名の方よりそれぞれの講演を行っていただくほか、パネルディスカッション等も予定しております。定員は100名で、お申し込みは不要でございます。市内外の縄文遺跡出土品が集まる貴重な機会でございますので、みなさま揃ってお楽しみいただければと考えております。

7. 認知症フォーラムを開催します

10月13日土曜日午前10時から午後3時まで、あいぽーと佐渡の多目的ホールにおきまして、「認知症フォーラム」を開催させていただきます。佐渡市では、65歳以上の高齢化率が40%を超えております。2025年には、65歳以上の5人に1人は認知症になると言われております。認知症は誰にでも起こりうる身近な脳の病気によるもので、誰もが認知症について正しく理解することが必要となります。

当日は、午前10時から新人介護士が試行錯誤しながら認知症の人の介護に奮闘する姿を描きました映画「ケアニン」を上映いたします。午後1時30分からは、名古屋市にお住まいで51歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断され、自身の経験から多くの人に認知症について理解してほしいとの思いで講演活動を行っております山田真由美氏をお招きし、「認知症でも笑顔のままで」と題して講演していただきます。

また、どなたでも受講できます「認知症サポーター養成講座」を同日の12時から開催いたします。事前申し込みは不要でございますので、ぜひこの機会に受講をお願いいたします。

「認知症になっても心が平和で、安心して暮らせる佐渡」を目指しまして、認知症について考えるフォーラムに、ぜひ多くの皆様からの参加をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

事前質問

なし

質疑応答

1. 佐渡トキ野生復帰10周年記念式典の開催について

記者：

式典にあわせて中国の洋県などからの訪問団がいらっしゃるという話を伺っているんですけども、市としてはどんな対応をするのか。関連したイベントですとかそういったものはどういったものが予定されているのでしょうか。

産業観光部長：

中国の洋県から全体で今現在 26 名参加をしていただけることで調整が進められているところでございます。小学生も同行してきますので、教育委員会と一緒に子どもの交流会それから視察、そういったものを今予定、調整しているところでございます。

記者：

日程については。

産業観光部長：

13 日にこちらに入ってこられる予定でございます。そのあとフォーラム等々にも参加をいただいて 15 日午後に戻られるという予定というふうに聞いております。

記者：

市長としては、こういった機会にこういった形で交流を深めていきたいとお考えになりますか。

市長：

今年私も佐渡市からも私も含めて、中国の洋県の方へ伺わせていただいて、そこで日中韓三カ国の朱鷺フォーラムに参加させていただきました。このフォーラムは今後継続的に開催しているというような話にもなっておりますので、今後洋県さらにはトキ放鳥を目指しております韓国との連携も含めて様々な意見交換をしながら、今後これまで以上にしっかり繋がりを密にしていきたいと考えております。

記者：

中国からのトキのつがいの受け入れについて 20 日前後の辺りで最終調整を両政府がしているという報道がありましたけれども、それについて市長としてどういうふうに受け止めていらっしゃるのか。また、受け入れですとか対応の準備というのはどのように進めていくのか。

市長：

そこにつきましては、詳細の日程についてはまだ国サイドから正式な連絡はきておりません。完全に確定すれば連絡がくるものと思っておりますが、現状ではまだ未定の状況でございます。今後の繁殖等も含めた中で、新たな、これつがいじゃなくて二羽。つがいではないと聞いておりますので、今後のトキのさらに繁殖、野生復帰に向けては非常にありがたい話でございますので、その辺のところは環境省さんとも連動しながら、しっかり大切に今後のさらなるトキの繁殖にしっかり役立てる環境を作っていきたいと思っております。

2. 2019 年度～2023 年度の両津病院移転新築事業や公共施設改修・統廃合についての市民説明会開催について

記者：

昨日の議会で新庁舎建設を求める住民投票実施の陳情が採択されましたけれども、その中で議

員さんがアンケートでもいいんじゃないかというような意見がありましたが、住民投票以外の方法で例えばアンケートなどの方法で、市民に新庁舎建設の意見を聞くようなお考えというのはあるのでしょうか。

市長：

それについては、今後庁内でまず検討、いずれにしる議会にこちらの考え方を戻さなければいけませんので、今後それについて検討作業を続けた上で方向性は出したいと思っておりますが、昨日の採択の部分でいいますと、賛成ではあるけども住民投票はやるべきではないという言い方もされたりもしているんで、その辺も踏まえて丁寧にこちらは検討していきたいと思っております。

記者：

庁舎を巡ってずっと議会と、なんていうかすれ違っているような気がしてならないんですけども、市長の合特債の使い方の理解をどのように議会と溝を埋めていけますか。12月に向けて。

市長：

ですから、その部分を市民の皆様にも理解を得てもらうために、今こちらの合特債事業、両津病院建設も踏まえたトータルの事業計画を説明して回っている最中でございます。その市民の皆様への反応も確認させていただきながら、こちらとしては修正する点があれば修正しようと思っておりますが、こちらが基本案として提示させていただいてるものが現状のこれからの両津病院の移転新築も含めるためには、合特債の事業が基本的には不可欠であるという考え方でございますので、庁舎新築にこだわっている議員の皆さんもいらっしゃるの重々これは2年前からわかっている話で、また合特債が更に5年延長ということでまた浮上してきた部分もございますので、その辺についてはこちらの考え方を粘り強く訴えていくしかないと思っておりますし、最終的に説明会の反応等も全部説明、議会にも説明させていただきながら、こちらとして両津病院の建設をズルズル延ばすということもできない部分もございますので、財源の確保の部分も含めて考え方をとにかく説明を続けてなんとかご理解をいただく努力を続けるしかないと思っております。

3. 平成30年度佐渡市総合防災訓練を実施します

なし

4. 蓮華峰寺弘法堂の修理現場見学会開催について

記者：

これは現地直接で事前申し込みはらないという理解でいいのでしょうか。

市長：

直接現地へ訪れていただければ、そこで対応させていただくことになっております。

5. 世界遺産登録に向けた今後の各種イベントについて

なし

6. 佐渡博物館「縄文の造形美－六反田南遺跡と火焰型土器－」および「佐渡縄文遺跡講演会」の開催について

なし

7. 認知症フォーラムを開催します

なし